PANC 08.13

305391

□要

□明

PANC 08.13 □胞株（PL9 としても知られる）は、腺癌に由来する膵臓がん □胞モデルである。この□胞株は、対立遺伝子喪失、ホモ接合性欠失、およびより広範な染色体不安定性を含む、ゲノム変異の解明に焦点を当てた研究に用いられてきた。 この□胞株は、がん□胞における体□胞変異を解析するために用いられる広範な膵臓がんモデル群の一部であり、特に対照となる正常組織が存在しない場合において、高解像度の遺伝子マッピングに理想的である。

Affymetrix 100K SNPアレイを用いた研究では、PANC 08.13が他の25の膵臓がん□胞株とともに解析された。これらのアレイにより、一塩基多型（ SNP）の高密度解析が可能となり、対応する正常サンプルを必要とせずにゲノム全体の対立遺伝子状態を明らかにすることができた。 このような研究は、膵臓がん□胞で頻繁に認められる対立遺伝子欠失（LOH）、遺伝子欠失、および染色体組換え事象の重要な領域を特定するのに役立ちます。

PANC 08.13の遺伝的特徴には、KRAS、TP53、CDKN2A、SMAD4など、膵臓がんに典型的に関連するドライバー遺伝子における頻出変異が含まれる。 これらの遺伝的欠損は、膵管腺癌の特徴であり、制御不能な □胞増殖、□胞周期調節の乱れ、およびアポトーシス機構の欠損に寄与している。 PANC 08.13のような□胞株を活用した研究により、標的療法の開発や、膵臓がんにおける新たな治療的脆弱性の同定が可能となる。

ティッシュ	膵臓
病気	腺癌

用途

3D□胞培養、がん研究

同義語

- Panc 8.13
- Panc-08.13
- PANC-08-13
- Panc_08_13
- Panc08.13
- Panc8.13
- Panc-8_13
- Panc-813
- PANC 813
- Panc813
- PANC813
- PANC0813
- Panc0813
- Pa14C
- PL9
- PL-9

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

特徴

形態学	上皮様
細胞の種類	上皮□胞
腫瘍形成性	はい。ヌードマウスおよびSCIDマウスでは「はい」です。
倍増時間	20時間

識別子

引用

PANC 08.13（Cytion カタログ番号 305391）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1638

発現と感受性

抗原発現

MHCクラスI陽性；MHCクラスII陰性

発がん遺伝子

K-ras+

変異プロファイル

変異：KRAS、単純変異、p.Gly12Asp (c.35G>A)、ホモ接合体；変異：SMAD4、単純変異、p.Cys123Metfs*2 (c.366dupA) (c.366_367insA)、ホモ接合体

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640 ´ w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37°C ´ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に15%のFBSおよび0.01 mg/mlのインスリンを添加する

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

通常の接着□胞培養の場合：付着□胞から古い培地を吸引し、PBSで洗浄して残存培地を除去する。 PBSを吸引した後、培養容器のサイズに応じて適切な量の Trypsin/EDTA溶液を加え（例えば、T25フラスコなら1ml ´ T75フラスコなら3ml）、□胞が剥離するまで（5～10分）室温または37°Cでインキュベートする。顕微鏡で剥離を観察し、必要に応じて容器を軽くたたいて□胞を離す。いったん剥離したら、完全培地を加えてTrypsin/EDTAを失活させ、□胞を静かに再懸濁し、□胞懸濁液のアリコートを新しい培地の入った新しい培養容器に移す。容器を37°C ´ 5%CO2に設定したインキュベーターに入れ、 2～3日ごとに培地を交換する。

播種密度	1～3 × 10^4/cm^2
流体の更新	週2～3回

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	85年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB